

池田市民記者が行く!

市民が池田市の魅力をレポートする“市民記者”として、地元・池田の情報を発信します。

今月の市民記者
池田 真由美さん

ピアメディエーション講師。もめごとを話し合いで解決していく方法を伝えている。「語りすと」としてインターネットラジオでインタビューする経験を生かし、池田にまつわるちょっと良い話をお届けしていきます。



世代を超えて集える場所をめざして

取材先

北摂模型フェスティバル実行委員会

「模型」と聞くと何を思い浮かべますか？ 今回は、中央公民館で行われた「熱き模型の祭典北摂模型フェスティバル」を紹介します。

プラモ愛が集結した！

会場には、中高生のクラブ活動での力作をはじめ、プラモデルがズラリと並んでいました。ほかにも、プラモデルの組み立て体験や鉄道模型の運転体験、部活の合宿記も紹介され、親子でもゆっくり楽しめる空間でした。特に関心を持ったのは、参加者同士が、お互いの作品に興味を持ち、目を輝かせて眺め、製作秘話を聞き入っていたことです。互いをリスペクトし合う様子は、見ていてとても心地よいものでした。

熱い思いと綿密な準備

「TOCfE いけだ」は、平成30年から“子どもの考える力をのばすワークショップ”を開催。令和5年には本イベントを始めました。主催者の佐藤秀輝（ぷらもおやち）さんは、「会社で学んだこ

とを地域活動にも活かせるのがおじさんの強み”。主催者を経験して、会社で前例のない業務を任されても根性で乗り越えるすべが身に付きました。今では、会社と地域活動の両輪で人生を2倍楽しんでいきます」と話します。また今回、無事開催ができたのは、『模型サークル愛★模』さんの運営補助があってこそだと佐藤さんは振り返ります。そこで、同サークル代表・岡本文宏（Hum）さんにも話を聞きました。

「今回、サークルを立ち上げて2年目の『模型サークル愛★模』が、運営補助をさせていただきました。元々同じ会社の仲間（おじさん）と始めたので、何をしても楽しく活動できています。本イベントで特に大切にしたのは、“誠心誠意の運営を心がけること”で

す。多くの応援や支援をいただき、イベントを通じて、どんどん《輪》が広がっていく感覚を肌で感じられたのが大きな喜びでした」。

思いと魅力を伝えたい！

来場者数は500人以上にもなり、多くの方がプラモデルの組み立てなどを楽しみました。「第5回までは続ける！」という熱い思いを実現させるため、鋭意取り組んでいます。皆さん、第5回北摂模型フェスティバルにぜひ遊びに来てください。



プラモデル製作中



市長を囲んで関係者の集合写真

お問い合わせ

連絡先

北摂模型フェスティバル実行委員会（TOCfEいけだ）

✉ hanksato2012@icloud.com